

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～ E組

教科担当者：

使用教科書：（「現代の国語」（数研出版））

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】実社会や実生活に必要な国語の知識や技能を身に付けて、適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】考える力を身に付け、それを他者と伝え合う中で表現したり、考えを広げたりする力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】様々な文章を読んだり、味わったりすることを通して言語感覚を磨き、国語の力を伸ばそうとする態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○実社会や実生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	○論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	○言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	授業ガイダンス	・授業の流れ、評価の観点等を理解する。	○			授業の流れを理解し、前向きに学習に取り組もうとしている。			○	1
	書き言葉の技術 【文章トレーニング1】 文章構造を理解する	・文章における文と文、段落と段落の関係を知る。		○		文章構造を理解している。	○			2
	社会と文化/コミュニケーション能力とは何か（内田樹）	・語句の意味を把握する。 ・段落ごとに要旨を捉える。 ・主題を読み取り、自己の考えをまとめる。		○	○	比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 二つの文章において筆者が論じている内容を粘り強く読み解いて、その要点を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	○			5
	書き言葉の技術 【文章トレーニング2】要約する	・文章の要点をとらえる。 ・文章の構造を意識してまとめる。	○	○		文章の要旨を、指定された文字数でまとめることができる。		○		
	第1学期中間考査						○	○		1
	書き言葉の技術 【文章トレーニング3】比較する 【文章トレーニング4】論証する	・比較によって仮説を立てる。 ・論証の方法を知る。		○		仮説の立て方、論証の方法について理解している。	○	○		1
	社会と文化/水の東西（山崎正和）	・語句の意味を把握する。 ・東洋と西洋の文化について考える。 ・段落ごとに要旨を捉える。 ・対比構造を明らかにする。 ・主題を読み取り、自己の考えをまとめ、他者に伝える。		○	○	個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。また、要旨をまとめることができる。 筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	○			6
	読書活動①「点検読書／新書」	・新書について知る。 ・奥付の見方を理解する。 ・新書の「点検読書」を通じて、本の選び方や読み方を習得する。 ・引用や出典の明記について知る。 ・図書館の本に触れる。			○	意見文やレポート作成、小論文作成や進路活動に生かすために、新書について理解しようとしている。			○	
	書き言葉の技術 【文章トレーニング5】 意見文を書く	・具体的に説得力のある文章で意見を述べる。 ・引用や出典の明記を実践している。		○	○	課題文の要旨を要約した上で、自分自身の意見や立場を明確にし、説得力のある結論でまとめている。		○		3
	第1学期期末考査						○	○		1
	言語技術の実践 読書活動② 「書評合戦ビブリオバトル」	・言語活動の充実に向けて、読書活動の推進をする。 ・言語能力の向上を図る。		○		自分の主張を聞き手に明確に伝えている。 聞き手にわかりやすく話そうとするとともに、他者の発表を聞いて、自分の意見を述べようとしている。		○		8
	ことばの働き/ものとことば（鈴木孝夫）	・語句の意味を把握する。 ・段落ごとに要旨を捉える。 ・文章内容に関連した具体例を探し、その内容について詳細に調べる。				言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙	○			

2 学 期		・主題を読み取り、自己の考えをまとめ、他者に伝える。	○	○	述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	○		7
					筆者の意見を踏まえた具体的事例を粘り強く分析し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。		○	
	第2学期中間考査					○	○	1
	認識の枠組み/浪費を妨げる社会 (國分功一郎)	・語句の意味を把握する。 ・段落ごとに要旨を捉える。 ・主題を読み取り、自己の考えをまとめる。 ・筆者が論じる問題について自分に引きつけて考察し、その内容を説明する。	○	○	実社会において理解したり表現したりするために必要な語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。 「読むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 筆者が論じる問題を積極的に自分に引きつけて考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	○		8
	解釈を述べる/事実なのか考えなのか (野矢茂樹)	・語句の意味を把握する。 ・段落ごとに要旨を捉える。 ・主題を読み取る。 ・言葉や表現が読み手に与える印象を考えながら、条件に沿って文章を書く。	○	○	比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 読み手を意識した構成・展開を積極的に考え、学習課題に沿って条件に即した文章をまとめようとしている。	○		6
	第2学期期末考査					○	○	1
3 学 期	認識の枠組み/他者を理解すること (鷲田清一)	・語句の意味を把握する。 ・文章中の表現について、文章の論理の展開を捉えて説明する。 ・段落ごとに要旨を捉える。 ・主題を読み取る。			主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 論理展開を押さえながら筆者の述べている内容を粘り強く読み解き、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	○		6
	実用の文章1/目的に合わせて表現を工夫する	・条例とパンフレットの表現上の特徴を捉える。 ・条例の文章を、パンフレットに掲載する文章に書き換える。 ・読み手を意識してわかりやすい文章を書く。 ・イラストや表などを加えてレイアウトを工夫し、パンフレットを作成する。 ・グループ内で発表し合い、各グループの代表者がクラス全体で発表を行う。	○	○	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解し、使っている。 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 実用的な文章の身近な事例を積極的に調べ、学習課題に沿って適切な形式の文章を用いてまとめようとしている。	○		8
	学年末考査					○	○	1
								合
								7